

校章

熊谷市立別府中学校



岡村 賢一

一 本校の沿革

別府中学校は、昭和二十二年四月一日、六三制新教育制度実施により、別府小学校内に四教室を借りて別府村立別府中学校として創立しました。初代校長は、清水重平先生で、生徒数169人、4学級で教員八人（男六、女二）の始まりでした。昭和二十四年一月二十三日、小学校が火災に遭い、五教室が消失。そのため、集齋所、九品仏堂等で分散して授業を行っていましたが、小学校とは独立して校舎を建設することになりました。

昭和二十三年には五学級で生徒数二一三人、教員11人、翌年、生徒数はさらに増加していったので新校舎は広い敷地が必要になりました。しかし、敗戦直後の村の財政は厳しく、敷地の買収や資金の調達等、昼夜を問わず東奔西走するなど、関係者の涙ぐましい努力があった

ということでした。結果、敷地面積三一六五坪という現在の場所に校舎を建設することができました。（当時の建設費で五、六九八、九〇九円）昭和二十五年、新しい場所、新しい校舎で再スタートとなりました。

現在は、学校教育目標「しなやかに 未来の自分を創る力を育む」の実現に向け、教職員が全員野球で知・徳・体のバランスのとれた学力を育むべく日々の教育活動に取り組んでいます。

二 校章・効果制定に係るエピソード

校章 昭和二十二年、新たな村立別府中学校の創設を機に小・中学校の交渉を定めることとなり、中学生全員に対して校章の図案を募集しました。その結果、当時中学二年生の関根貴江子さんの作品を採用することとなりました。

校歌 昭和四十一年一月二十一日、校歌制定発表披露会が行われました。

